地上デジタル放送対応

品番：GK9HX1210A

バスルーム
取付設置説明書
バステレビ（12V型）

■この商品には「取扱説明書」とB-CASカードなどを添付していますので、必ずお施主様または販売店様にお渡しください。
■取付設置後、必ず試運転を行ってください。
■この取付設置説明書に記載されていない方法で取付設置され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

バスルーム取付設置業者様へのお願い

「電気工事」の章は、電気工事店様の工事範囲となります。
バステレビ本体の取付設置が終わりましたら、この取付設置説明書を電気工事店様にお渡しいただき、作業をお引き継ぎください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

■誤った取付設置をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ **警告** 「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。

⚠ **注意** 「障害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

  してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

※取付設置完了後、「確認」に記載の点検項目にしたがって各部の点検を行い、器具のがたつきや漏電・水漏れなど安全上に不具合がないことを確かめてください。

⚠警告

分解禁止

- **商品の改造や仕様変更は絶対にしない**
（商品の改造や仕様変更は事故の原因となります。）

禁　止

- **電源チューナーボックスは浴室内および屋外には設置しない**
（故障や漏電のときに感電の原因となります。）

必ず守る

- **電気工事は、関連する法令・規制にしたがって、必ず「有資格者」が行う**
（火災、感電、水漏れの原因となります。）
- **電源チューナーボックスは各バスメーカー様の指定位置に設置する**
（指定位置以外に設置すると、故障や漏電のときに感電の原因となります。）
- **漏電ブレーカーが取り付けられていることを確認する**
もし取り付けられていなければ最寄りの電気工事店に依頼し、必ず取り付ける
（故障や漏電のときに感電の原因となります。）

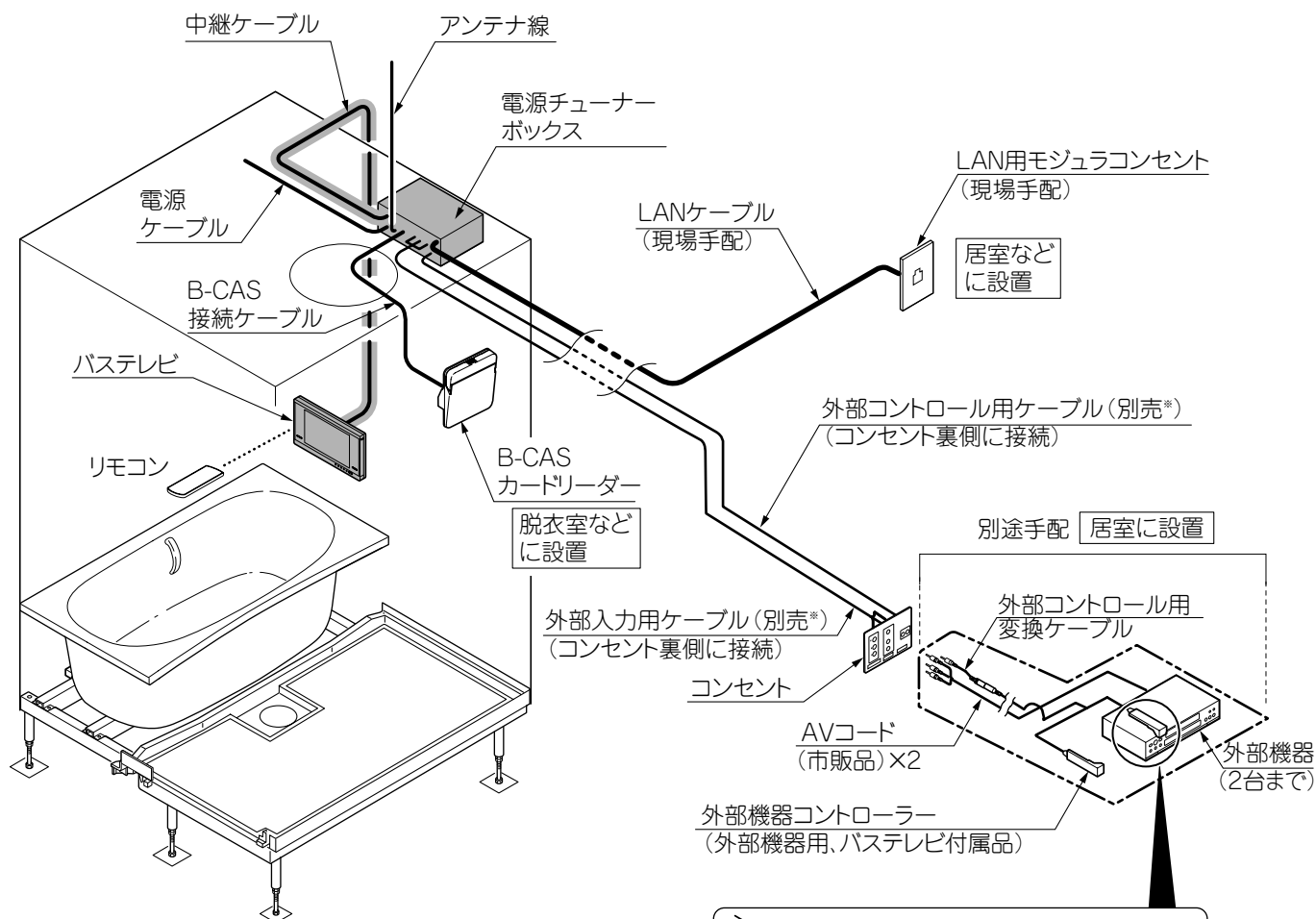
⚠注意

禁　止

- **重量物は一人で運ばない**
（一人で運ぶと、けがをするおそれがあります。）

必ず守る

- **シリコーン充てんは指定個所に確実に行う**
（確実にシリコーン充てんしないと、水漏れの原因となります。）
- **電気機器は、その機器の定格電圧で使用する**
（定格電圧以外で使用すると、事故の原因となります。）
- **運搬や取付設置は必ず手袋をはめ、長袖などの作業に適した服装で行う**
（守らないと、けがをするおそれがあります。）

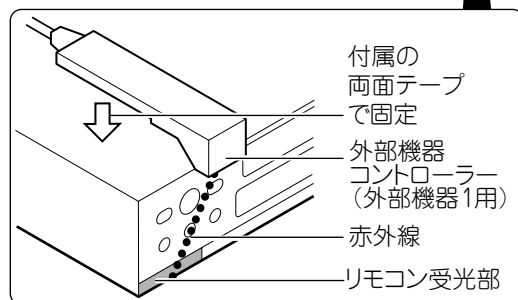
構成図・付属品の確認

〈工事区分〉

[点線枠] 内はお客様による接続となります。

SB工事・UB工事

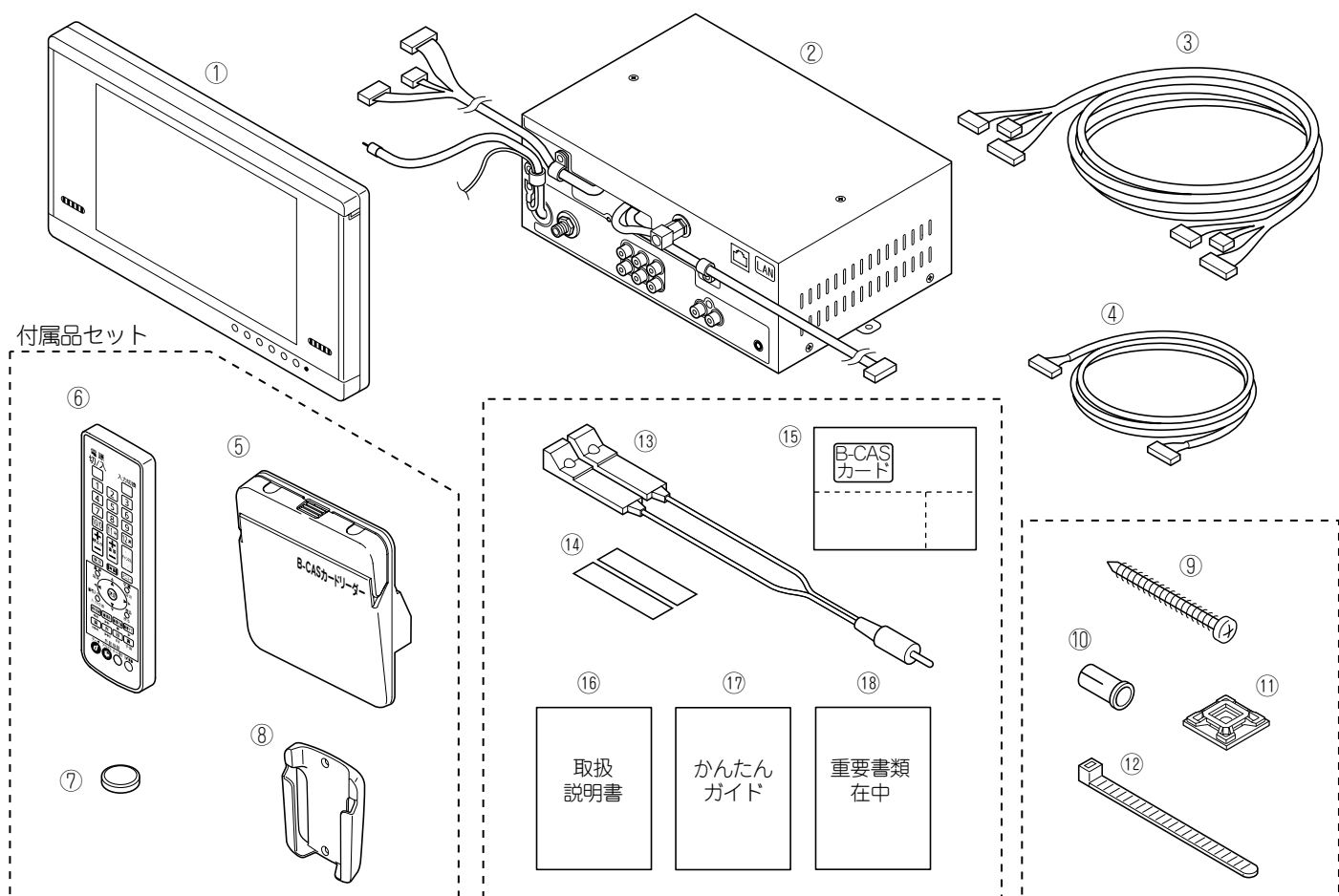
上図 [灰色] 部分（バステレビ本体、電源チューナーボックス、中継ケーブル）

電気工事

上記以外

※別売品につきましては、本書の「外部機器とLAN接続について」をご覧ください。

すべての作業が完了したら、以下をお施主様または販売店様に確実にお渡しください。

- ●リモコン
- ●リモコン用ボタン電池
- ●リモコンホルダー
- ●外部機器コントローラー
- ●外部機器コントローラー固定用両面テープ
- ●取扱説明書
- ●かんたんガイド
- ●B-CASカード
- ●重要書類在中チラシ

- リモコンホルダーは、お客様のお好みの位置に取り付けられるよう、付属の両面テープで固定するようになっています。
  リモコン、リモコン用ボタン電池とともに、そのままお渡しください。

図番	部品名	個数
①	バステレビ本体	1
②	電源チューナーボックス	1
③	中継ケーブル（4.5m）	1
④	B-CAS接続ケーブル（4.5m）	1
⑤	B-CASカードリーダー	1
⑥	リモコン	1
⑦	リモコン用ボタン電池（CR2032）	1
⑧	リモコンホルダー	1
⑨	バステレビ本体取り付け用ねじ（4×35）	4
⑩	フィッシャーアンカー（ネオセライトパネルに使用）	4
⑪	固定ベース	1
⑫	結束バンド	1
⑬	外部機器コントローラー	1
⑭	外部機器コントローラー固定用両面テープ	2
⑮	B-CASカード（使用許諾契約約款、ユーザー登録はがきを含む）	1
⑯	取扱説明書	1
⑰	かんたんガイド	1
⑱	重要書類在中チラシ	1
―	取付設置説明書（本書）	1

※⑥～⑧と⑬～⑱は、取付設置後、お施主様または販売店様に確実にお渡しください。

※B-CASカードのお取り扱いなどについては、重要書類在中チラシをご参照ください。

※B-CASカードリーダーの取り付け用ねじは（4本）、埋め込みボックス または はさみ金具（下記「その他必要部材」を参照）に付属のものを使用してください。

※電源チューナーボックス②に外部機器接続ケーブルやLANケーブルを接続する場合は、「外部機器とLAN接続について」をご覧ください。

使用工具類

●ドリル
　φ2.8（eパネルの場合）
　φ4.8（ネオセライトパネル・ハイブリッドパネルの場合）
●ホールソー φ32　●シリコーン
●水準器　●養生テープなど　●呼び線など

その他必要部材

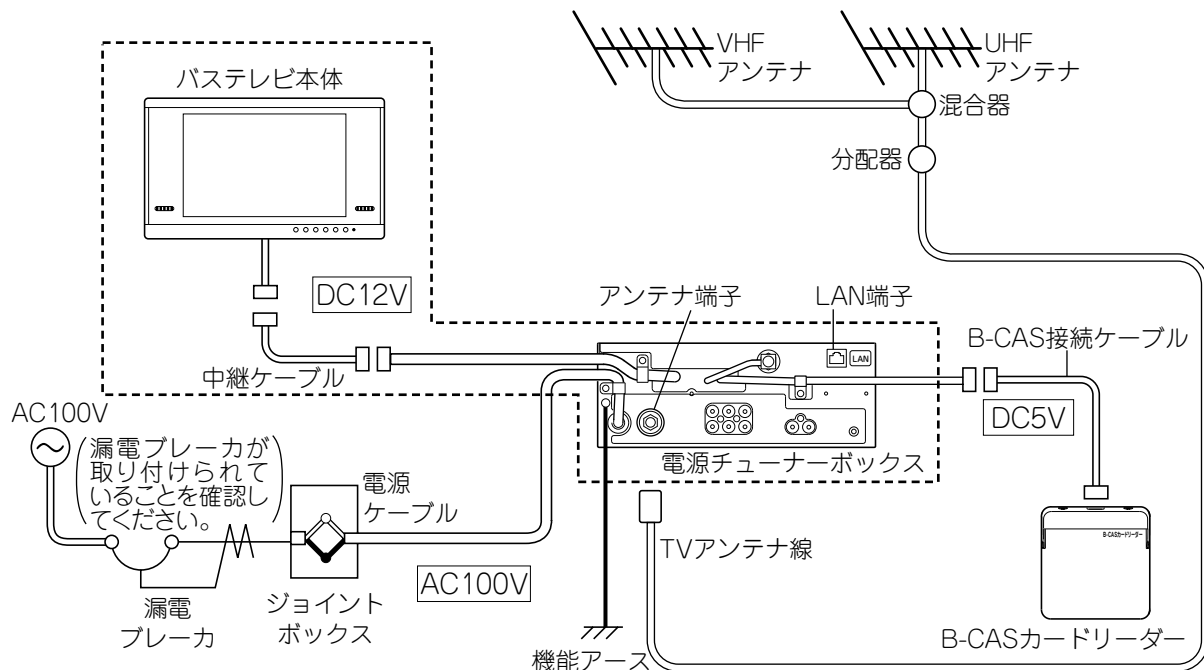
●B-CASカードリーダー取り付け用
　埋め込みボックス または はさみ金具

〈埋め込みボックス使用の場合〉
　パナソニック電工製2個用スイッチボックスDS4912
　または　JIS C 8340 対応品（深さ33mm以上）

〈はさみ金具使用の場合〉
　パナソニック電工製 はさみ金具
　7～18mm壁用（石こうボード用）WN3993020（2個使用）
　3～10mm壁用　WN3990K　（2個使用）など

電気配線図

■メイン部分

[点線枠] 内はSB・UB取付設置店様、それ以外は電気工事店様の作業範囲となります。

★工事の際は、必ず漏電ブレーカを設置してください。
★機能アースは安全アースではありません。機能アース線は必ず接地してください。
★アンテナ端子への入力電界は、70dBμVを目安にしてください。
　強電界地域では、一般テレビに比べ、画質に影響が出て減衰機が必要となる場合があります。
★本商品は著作権保護技術を採用しており、著作権保護された番組を視聴する場合は、バステレビ本体と電源チューナーボックスを中継ケーブルで接続してください。

外部機器とLAN接続について

■外部機器との接続

電源チューナーボックスに別売の「バステレビ外部接続ケーブルセット」を用いて、外部機器（DVDプレーヤー、BS・CSデジタルチューナー、ケーブルテレビ専用チューナーなど）を接続することにより、DVDやBS・CSデジタル放送、ケーブルテレビの有料放送などをバステレビで楽しむことができます。

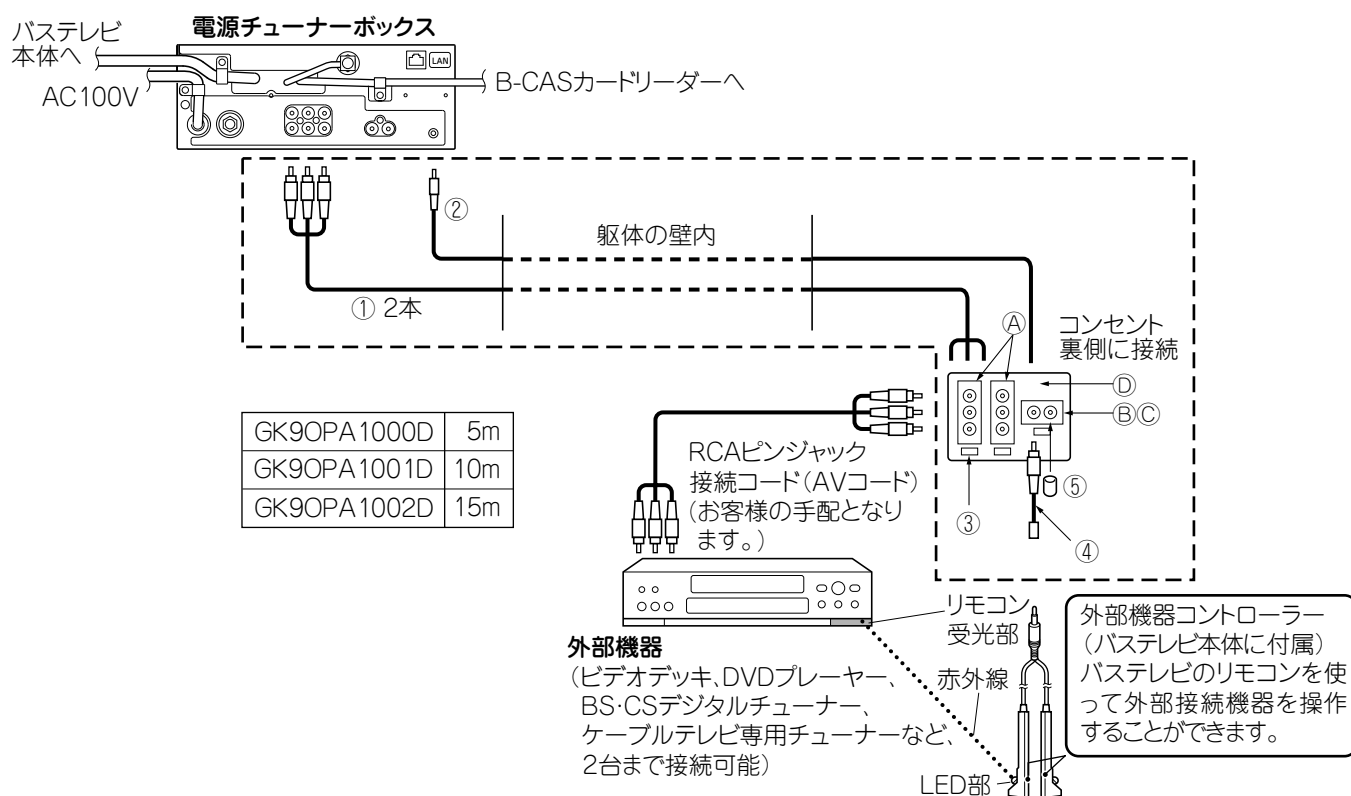
※ご使用になる外部機器によっては、バステレビのリモコンで操作できなかったり、特定のボタンが使用できない場合があります。このような場合は、ご使用になる外部機器付属のリモコンを使用して浴室外で操作してください。

〈必要な環境・工事〉

●外部機器を設置するためのスペース（居室）
●外部入力などの先行配線工事

〈バステレビ外部接続ケーブルセット〉

外部機器接続部分については、オプションの「バステレビ外部接続ケーブルセット」（品番：GK9OPA1000D（5m）、GK9OPA1001D（10m）、GK9OPA1002D（15m））をご使用のうえ、必要な部材を現場手配いただく必要があります。
電源チューナーボックスから外部機器までの配線長さは、12m以内（GK9OPA1000D、GK9OPA1001Dの場合）、または17m以内（GK9OPA1002Dの場合）になるようにしてください。
「バステレビ外部接続ケーブルセット」の接続方法など、詳細については商品に付属の取付設置説明書をご覧ください。

GK9OPA1000D	5m
GK9OPA1001D	10m
GK9OPA1002D	15m

●セット内容明細

図番	部品名	個数
①	外部入力用ケーブル	2
②	外部コントロール用ケーブル	1
③	外部入力用コンセントラベル	1
④	外部コントロール用変換ケーブル	1
⑤	RCAキャップ	1
ー	固定ベース	3
ー	結束バンド	3
ー	取付設置説明書（本書）	1

●その他必要部材

以下の部材を別途手配してください。

図番	部品名	個数
Ⓐ	AV用信号コンセント（WN4822 パナソニック電工製）	2
Ⓑ	オーディオ用信号コンセント（WN4821 パナソニック電工製）	1
Ⓒ	オーディオ用信号コンセント取り付け枠	1
Ⓓ	プレート（化粧プレート・プレート枠）（7個用）	1

■LAN接続

電源チューナーボックスにLANケーブル（現場手配）を接続することにより、インターネット経由で（株）アクトビラが提供するデジタルテレビ向けの情報サービスも楽しむことができます。

〈接続の例〉

〈必要な環境・工事〉

●FTTH（光ファイバ）、ADSL、CATV（ケーブルテレビ）といったブロードバンド環境

●LANケーブルの先行配線工事

〈必要な部材（現場手配）〉【住宅用情報盤を導入しない場合】

●CAT5E対応情報モジュラジャック（埋込型）
（パナソニック電工製　NR3160Wを推奨）

●コンセント絶縁取付枠
（パナソニック電工製　WTF3710Kを推奨）

●LANケーブル（CAT5E）

●配管（PF16）

●コンセントプレート

●モジュラプラグ（8極8芯）

事前確認

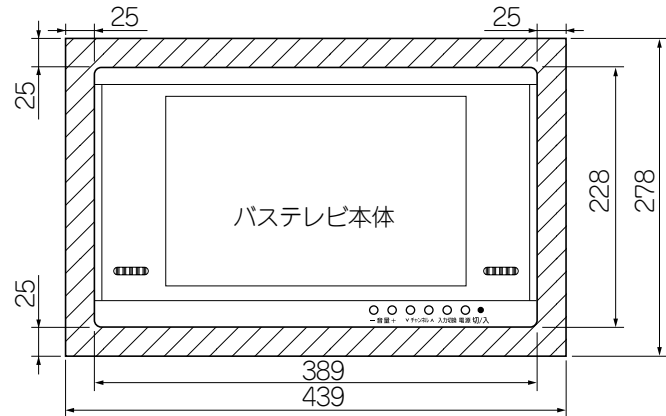
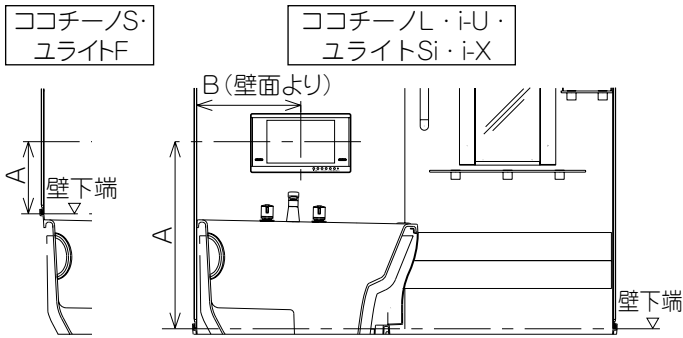
■取り付け前のご注意

●あらかじめ現場確認を十分に行ってください。
●パナソニック電工製i-U1712サイズには取り付けできません。
●パナソニック電工製以外のバスルーム・ユニットバスルームに取り付ける場合は、各バスメーカー様に取り付けの可否をご確認ください。
●在来工法浴室壁や、タイル壁のバスルーム・ユニットバスルームには取り付けできません。
●使用温度は0～50℃です。高温サウナなど、50℃を超える場所には取り付けできません。
●バステレビ本体の推奨取り付け位置は浴槽正面です。横型ミラーを選択された場合などは、正面には取り付けできません。
●お客様に取り付け位置を確認のうえ、取り付け必要スペース（W439×H278）を確保できるか、リモコンや水栓金具などとの取り合いを十分ご確認ください。
●バステレビ取り替えの場合は、既設のテレビのねじ穴がバステレビ本体のサイズに収まるかご確認ください。
●配線のため、バスルーム内寸～建築躯体内法面まで40mm以上確保してください。また、天井点検口から呼び線などを使用して中継ケーブルの入線が可能か、取り付け位置の壁裏に電線や裏配管、壁補強、建築側柱などの干渉物がないかをご確認ください。
●B-CASカードリーダーの設置位置を、お客様と打ち合わせのうえ決めてください。
なお、設置スペース（140mm×140mm、深さ33mm以上）は、下記条件に当てはまる位置としてください。
1）バスルーム天井裏に設置した電源チューナーボックスから5m以内であること。
（なるべく脱衣所などの壁面上方をお勧めします。）
2）お客様がB-CASカード（86mm×54mm）を抜き差しできること。
（周囲にB-CASカードの抜き差しの障害となるものがないこと。）
3）浴室からの湯気が直接B-CASカードリーダーに当たらないこと。
●バステレビ本体取り付けの際、必要に応じてアンカーを使用してください（バステレビ本体の質量は約1.7kgです）。パナソニック電工製バスルームへの取り付け用として鋼板壁用ねじ（なべタッピンねじ4×35、下穴φ2.8）およびネオセライトパネル・ハイブリッドパネル用のフィッシャーアンカー（下穴φ4.8）とねじ（なべタッピンねじ4×35）を付属しています（あらかじめ壁の種類を磁石などを用いて確認してください）。
●天井点検口から手が届く範囲に電源チューナーボックス（W240×H162×D90、質量約2kg）を水平に設置可能な場所があるかご確認ください。取り付け位置は各バスメーカー様にご確認ください。
●パナソニック電工製・パナソニック電器産業製バスルームのドーム天井（EXシリーズのアーチ天井は除く）の上には電源チューナーボックスは取り付けできません。この場合は、他に電源チューナーボックスを置く場所があるかの確認が必要です。
●漏電ブレーカが取り付けられていることと、浴室天井裏の電源接続位置（ジョイントボックス）をご確認ください。
●TVアンテナ線が浴室天井裏に配線されているかご確認ください。配線されていない場合は、分配器の位置を確認のうえ、TVアンテナ線が配線可能かご確認ください。
●地上デジタル放送または地上アナログ放送が受信可能な環境かご確認のうえ、必要な受信システム機器をご選定ください。
●必要に応じてバステレビ外部接続ケーブルセットやLAN（アクトビラ用）の配線が可能かご確認ください。
●取り替えのバステレビ（GK9AHX600）がバスオーディオ（GK9ASX101W）と接続されている場合は、別途、音声出力変換ケーブル（RLXAS10DM06）の手配が必要です。

単位：mm

〈推奨取り付け位置図〉

※お客様や工務店様とご確認のうえ、なるべく正面からバステレビが見ることのできる位置に取り付けてください。

★横型ミラーを選択された場合などプランによっては正面に取り付けできない場合があります。事前に図面などでご確認ください。
★直射日光の当たる位置への取り付けは避けてください。
★暖房換気乾燥機のある浴室に取り付ける場合は、温風が直接当たらない位置に取り付けてください。
★下記寸法はあくまで推奨値です。
壁目地、壁裏の状態（配管やフレームなど）、握りバー、混合水栓、その他オプション機器などの位置を確認し、お客様とご相談のうえ、浴槽内から見える位置に取り付けてください。
バステレビの視野角（画面を見ることができる角度）は、上下140°（上下各方向70°）、左右160°（左右各方向80°）です。

※ココチーノS・ユライトFについては床ハーフタイプのため上図と見た目が異なります。

〈　〉内寸法は、ゲンキ浴i・ミスト音声ガイド付浴室リモコンと併設する場合

	A寸法	B寸法
・ココチーノL・i-Uダブルカウンター（ロングタイプ） ・i-Uフルボーダーカウンター	770	400 〈360〉
・ココチーノL・i-U（上記以外のタイプ）・ユライトSi・i-X	735	400〈360〉
・ユライトF	325	400〈360〉
・ココチーノS（1621［アーチ・エスライン浴槽］・1618・1616・1216サイズ）	303	400〈360〉
・ココチーノS（1621［ワイド浴槽］サイズ）	303	340
・ココチーノS（1818サイズ）※	187	400〈360〉

※カウンター上パネルより

●取り付け必要スペース寸法

★シリコーン充てんのため、4周にスペースが必要です。

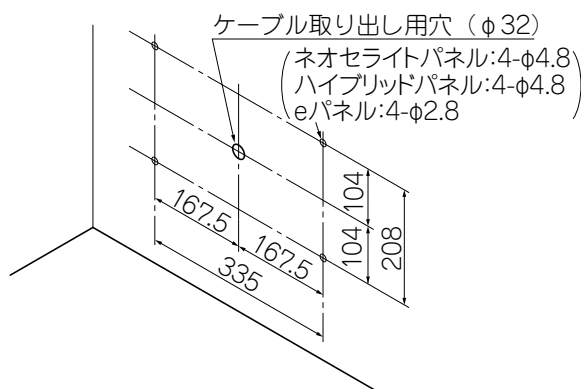
取付設置のしかた

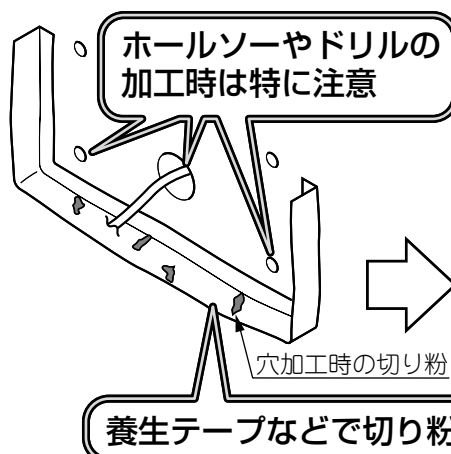
1 壁パネルの加工

単位：mm（記載されているものを除く）

1 ケーブル引き込み用とバステレビ本体取り付け用の下穴開口

①前ページと右図を参照して、バステレビの取り付け位置をけがく。
②Φ32の下穴を開口する。
③取り付け用ねじ、またはフィッシャーアンカー用の下穴を開口する。

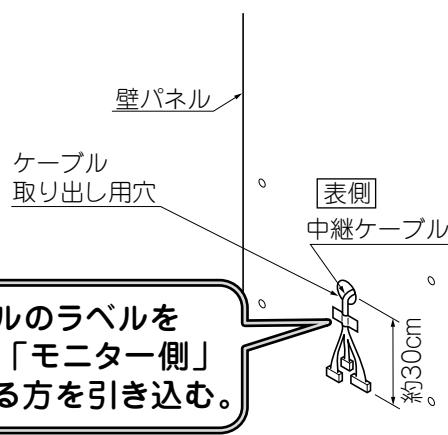
・下穴径は壁パネルの種類により異なりますので、各バスメーカー様にご確認ください。

取付設置上のお願い

- バステレビを交換する場合、既設のバステレビを取りはずす際に壁パネル表面を傷つけないよう、シリコーンをはがしてください。
- 壁パネルを開口する際に出る切り粉は、**「もらいさび」の原因**となります。浴槽面へ落下させないよう、養生テープなどで切り粉を受けてください。万が一落下した場合は、必ず清掃をお願いします。

2 中継ケーブルの引き込み

①呼び線などを使用して中継ケーブルを壁パネルのケーブル取り出し用穴に通し、テープで仮留めする。

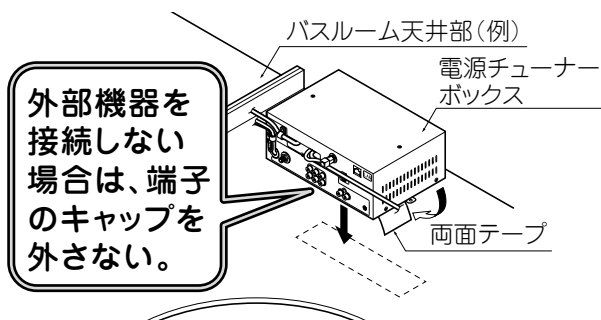
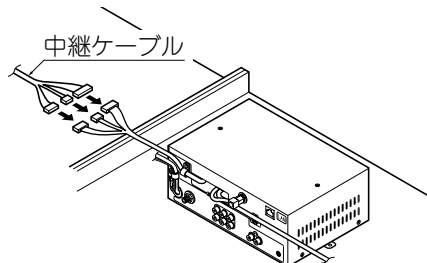
・壁パネルの表側に30cm程度引き込んで、テープ留めしてください。

取付設置上のお願い

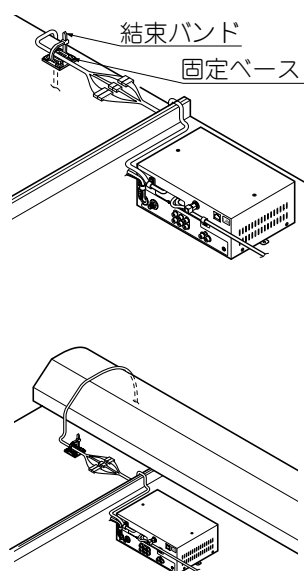
- バステレビを交換する場合、既設のコード類は壁裏に固定されている場合があります。
- 中継ケーブルの配線時は、コードを傷つけないようにご注意ください。

2 電源チューナーボックスの取り付け

1 電源チューナーボックスの固定と中継ケーブルの接続

①電源チューナーボックス底面の両面テープのはく離紙をはがし、コネクター接続部を点検口側に向けて天井面に載せる。

- ・取り付け位置は、各バスメーカー様にご確認ください。
- ・電源チューナーボックス設置前に、ほこりがつかないように天井をふいてください。
- ・養生シートがある場合は、はがしてください。

②中継ケーブルを電源チューナーボックスのケーブルと接続する。

③中継ケーブルを敷設する位置（1か所）に固定ベースをはり付け、結束バンドを通す。

④中継ケーブルを結束バンドで固定する。

・ウォールウォッシャー天井の場合

取付設置上のお願い

- 中継ケーブルを接続する前に、電源ケーブルを接続しないでください。
（故障の原因となります。）
- バステレビの中継ケーブルは電源線や酸素美泡湯ポンプケーブル・ジェットバスポンプケーブルと50cm以上離してください。
（酸素美泡湯やジェットバスの運転時に、ノイズが入る原因となります。）

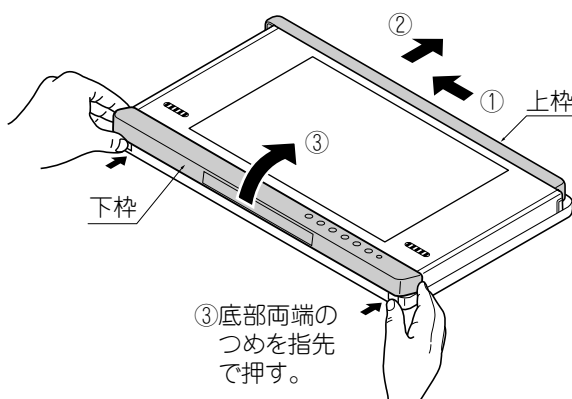
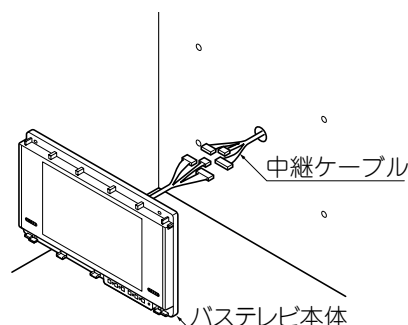
3 バステレビ本体の取り付け

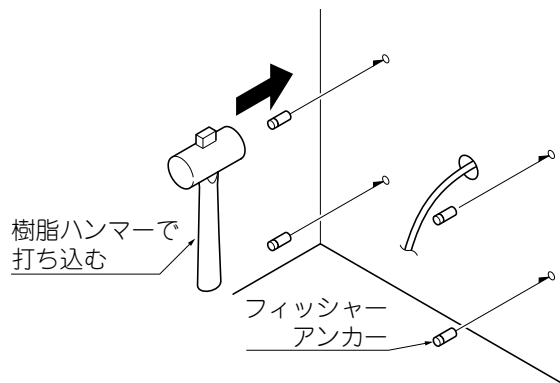
1 取り付け前の作業

・液晶保護シートが枠の下部まではられている場合は、枠の部分のみはがしてからはずしてください。

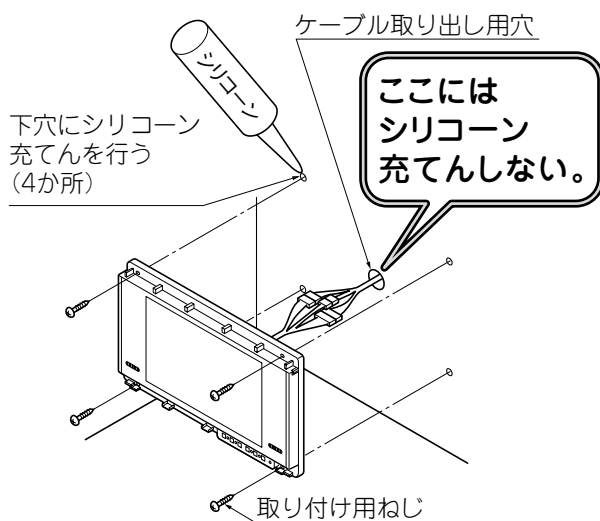
①上枠を、左にスライドさせる。

②上枠を、矢印の方向へスライドさせてはずす。

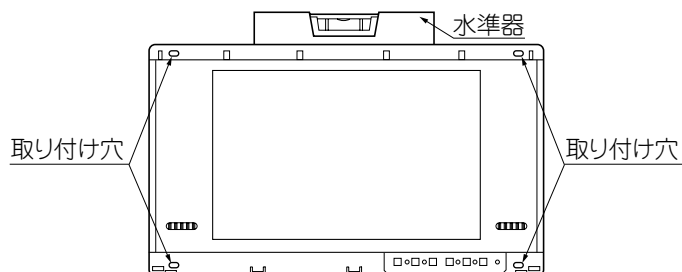
③底部両端のつめを指先で押さえながら、下枠の底部を持ち上げてはずす。

④中継ケーブルとバステレビ本体のケーブルを接続する。

2 バステレビ本体の取り付け

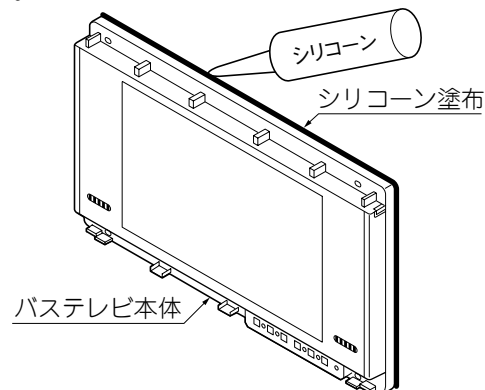
①（ネオセライトパネル・ハイブリッドパネルのみ）
バステレビ本体の取り付け用下穴にフィッシャーアンカーを打ち込む。

②eパネルの場合は下穴に直接、ネオセライトパネル・ハイブリッドパネルの場合はフィッシャーアンカーにシリコーンを塗布する。

③接続したケーブルを穴から浴室外へ送り出す。

④バステレビ本体をねじで仮留めする。

取付設置上のお願い

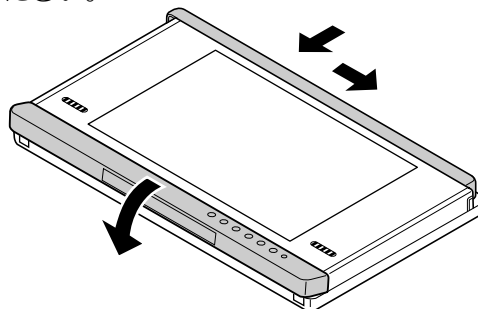
- バステレビを交換する場合、不要なねじ穴は、シリコーンでふさいでください。
- ケーブル取り出し用穴は、シリコーンでふさがないようにしてください。
（結露して、バステレビが故障するおそれがあります。）

⑤水準器で水平を確認しながら、ねじを締め付ける。

⑥バステレビ本体の4周に、切れ目なくシリコーン充てんを行う。

⚠注意

必ず守る

- シリコーン充てんは指定個所に確実に行う
（確実にシリコーン充てんしないと、水漏れの原因となります。）

⑦上枠と下枠を取り付ける。

・ 3 -1「取り付け前の作業」の逆の手順で取り付けてください。

※ここまでの作業が完了したら、この取付設置説明書を電気工事店様にお渡しのうえ、作業をお引継ぎください。

電気工事

以下の作業は、電気工事店様の作業となります。

※B-CASカードリーダーの接続は、埋め込みボックス使用時の内容です。

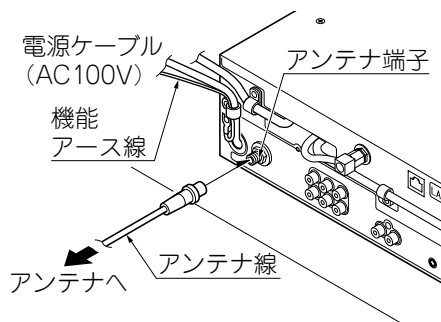
1 結線

1 アンテナ線とVVFケーブル・機能アース線の結線

①電源チューナーボックスのアンテナ端子にアンテナ線を接続する。

・アンテナ端子への入力電界は、70dBμVを目安にしてください。

取付設置上のお願い

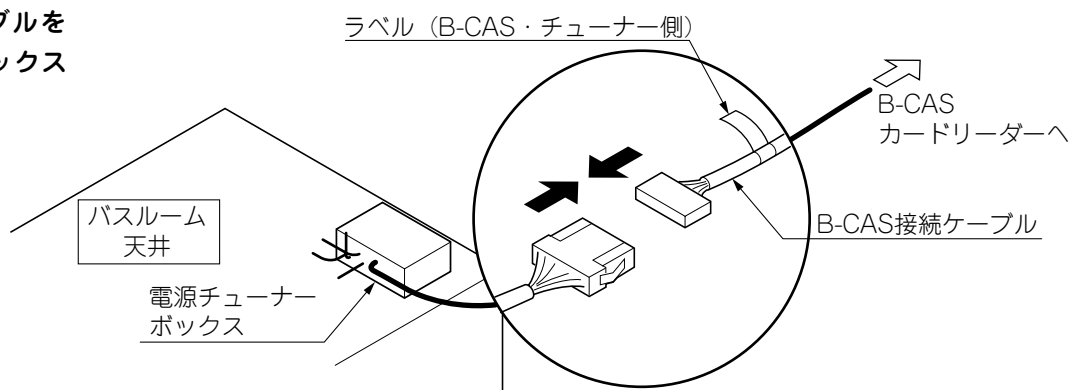
- 本機のアンテナ入力には、電流非通過型の分配器などを用い、直流電圧がかからないようご注意ください。

②機能アース線を接地する。

・機能アースの配線をしてください。

・なお、機能アースは安全アースではありません。機能アース線は必ず接地してください。

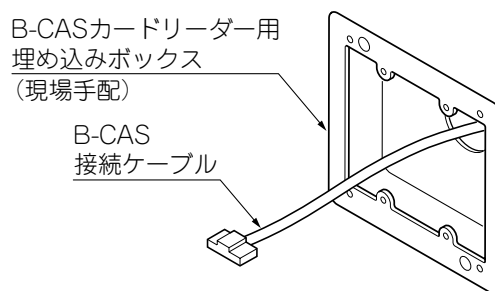
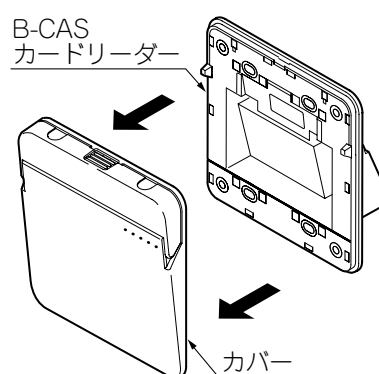
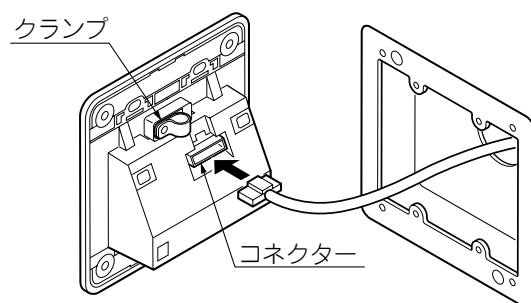
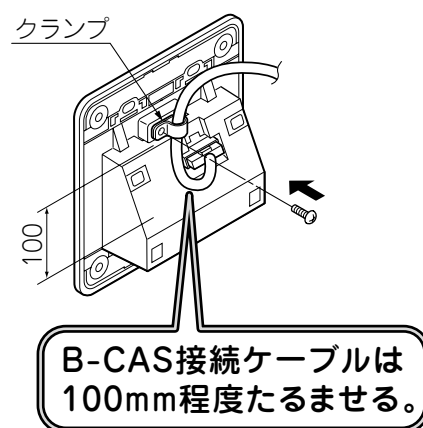
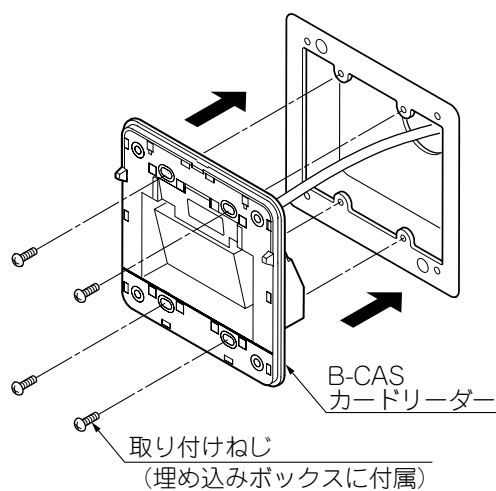
③電源チューナーボックスの電源ケーブルをジョイントボックス内でAC100V（50/60Hz）に接続する。

2 B-CASカードリーダーの接続

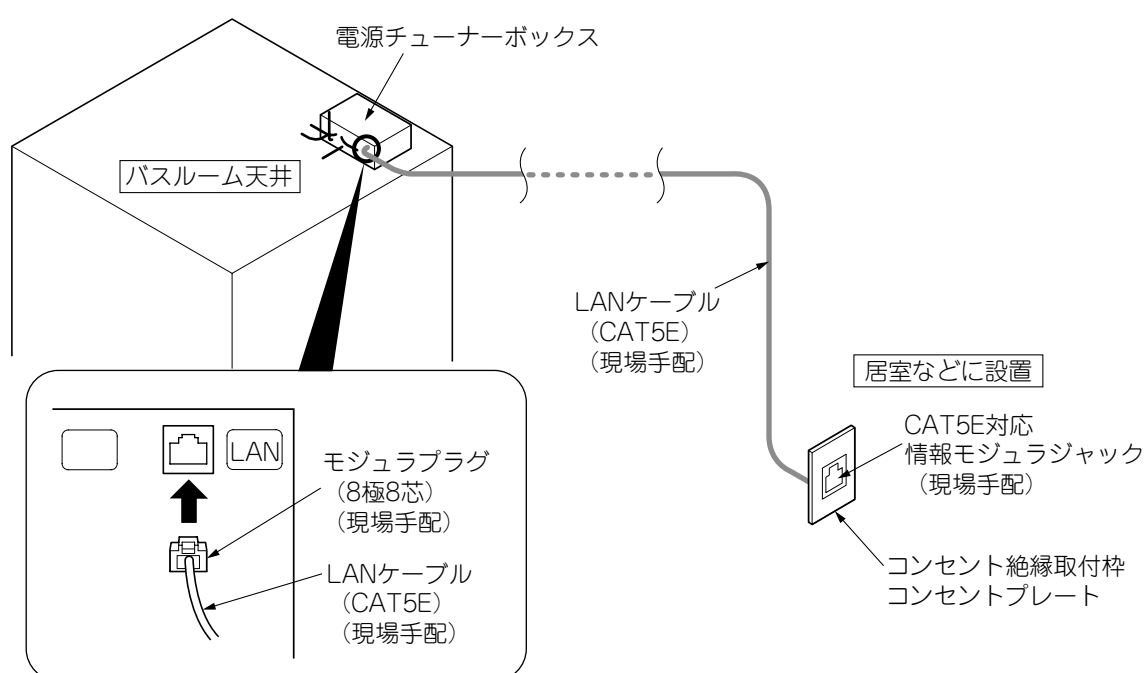
①B-CAS接続ケーブルを電源チューナーボックスに接続する。

②打ち合わせにて決定した取り付け位置に、B-CASカードリーダー用埋め込みボックスを取り付けるための穴開口と、B-CAS接続ケーブルの配線を行う。

・設置位置の条件については、「事前確認」をご覧ください。

③埋め込みボックスを埋め込み、B-CAS接続ケーブルを引き込む。

単位：mm

④B-CASカードリーダーのカバーを取り外す。

⑤B-CAS接続ケーブルをB-CASカードリーダーの背面にあるコネクターに接続する。

⑥B-CAS接続ケーブルが抜けないよう、クランプで固定する。

⑦B-CASカードリーダーを壁面に固定する。

⑧カバーを取り付ける。

3 LANケーブルの接続

※LANケーブルの配線は、新築やリフォームなど躯体の状況によっても異なります。また、プロバイダー契約とブロードバンド環境に応じた機器（モデム、ルータなど）が必要です。
住宅用情報盤（ハブ内蔵タイプ）を導入される場合は、ハブからバスルーム天井まで配管（PF16）を用いてLANケーブルを直接配線してください。
その際、バスルーム天井に情報モジュラジャック（パナソニック電工製NR3161を推奨）を設置し、LANコードで接続してください。
下図は、住宅用情報盤を導入されない場合の配線の一例です。

4 外部機器用ケーブルの接続

・オプションの「バステレビ外部接続ケーブルセット」を接続する場合は、付属の取付設置説明書をご覧ください。
※セット品番
GK9OPA1000D（ 5m）
GK9OPA1001D（10m）
GK9OPA1002D（15m）

取付設置上のお願い

- 外部機器との接続ケーブルがあまった場合、ケーブルをたばねないでください。
たばねると、外部機器の操作に支障が生じる場合があります。

取付設置後のチェック

・本表は取付設置後に行う検査チェックリストです。本表にしたがいチェックしてください。

項　　　　　目	チェック
1．B-CASカードリーダーが脱衣室などに設置され、電源チューナーボックスとB-CAS接続ケーブルで接続されているか	
2．電源チューナーボックスのアンテナ端子にアンテナ線は接続されているか	
3．漏電ブレーカは「入」になっており、電源（AC100V）が通電されているか	
4．液晶保護シートをはがしているか	
5．「電源ボタン」を押し、液晶画面が映るか	
6．「入力切換ボタン」を押し、画面上の表示が「地上アナログ」→「地上デジタル」→「外部1」→「外部2」のチャンネル表示に切り換わるか	
7．「電源ボタン」をもう一度押し、電源が切れるか	

パナソニック電工株式会社　水廻りシステム事業部
〒571－8686 大阪府門真市大字門真1048番地

GVN2736
Di0408-20410